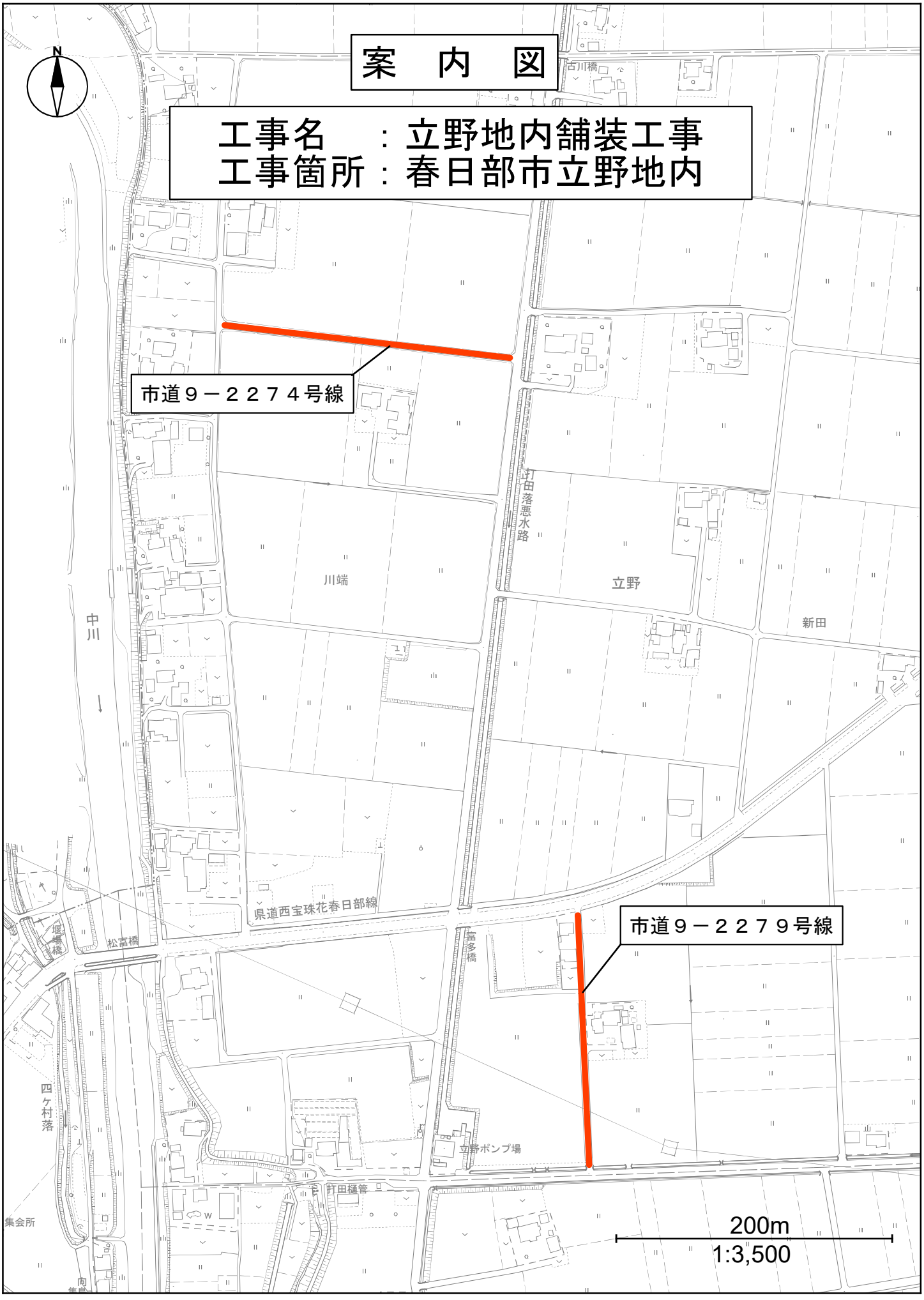
令和8年度　　工　事　仕　様　書

工　事　名	立野地内舗装工事
工 事 場 所	春日部市立野地内
路 河 川 名 称	
事 業 名	
工 事 大 要	

工事延長　L=376.4m

アスファルト舗装工　A=1210㎡


案　内　図
工事名　：立野地内舗装工事
工事箇所：春日部市立野地内
N
市道９－２２７４号線
市道９－２２７９号線
古川橋
打田落悪水路
川端
立野
新田
中川
県道西宝珠花春日部線
堀場橋
松富橋
富多橋
四ケ村落
立野ポンプ場
打田樋管
集会所
200m
1:3,500

変 更 理 由	

備　　考	

地　　区	(0001)　県南	労務費補正	1.00	機械経費(賃料)補正	1.00

単価適用年月	(R0810)　令和08年10月				
工　　期	当　　初	自		至	
		日 数			
	変　　更			至	
経費適用年月	令和08年10月				
主たる工種	舗装工事				
施 工 地 域	一般交通影響有り (2) -1				

設　　計		当 初 金 額	変 更 金 額
	工事価格		
	消費税相当額		
	合計		
請　　負	工事価格		
	消費税相当額		
	合計		
	請負増減額		

週休2日区分	補正なし

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分　工種　種別　細別・規格	数　量	単 位	単 価	金　額	摘　要
道路新設･改築	1	式			
_ 舗装	1	式			
_ _ 舗装工	1	式			
_ _ _ 舗装準備工	1	式			
_ _ _ _ 舗装版切断	6	m			第1号一位代価表
_ _ _ _ 濁水運搬処理	1	式			第1号内訳書
_ _ _ _ 舗装版破砕	42	m2			第2号一位代価表
_ _ _ _ 殻運搬	2	m3			第3号一位代価表
_ _ _ _ 不陸整正	946	m2			第4号一位代価表
_ _ _ _ 掘削	10	m3			第5号一位代価表
_ _ _ _ 掘削・残土運搬	10	m3			第6号一位代価表

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分　工種　種別　細別・規格	数　量	単 位	単 価	金　額	摘　要
_ _ _ ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	1	式			
_ _ _ _ 表層(車道・路肩部)	1,210	m2			第7号一位代価表
_ _ _ _ 下層路盤(車道・路肩部)	266	m2			第8号一位代価表
_ _ _ _ 上層路盤(車道・路肩部)	266	m2			第9号一位代価表
_ 道路改良	1	式			
_ _ 構造物撤去工	1	式			
_ _ _ 排水構造物撤去工	1	式			
_ _ _ _ U型側溝撤去	49	m			第10号一位代価表
_ _ _ _ 殻運搬	3	m3			第11号一位代価表
_ 【交通誘導警備員】	1	式			
_ _ 【交通誘導警備員】	1	式			

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分　工種　種別　細別・規格	数　量	単 位	単 価	金　額	摘　要
_ _ _ 【交通誘導警備員】	1	式			
_ _ _ _ 交通誘導警備員Ｂ		人日			第12号一位代価表
_ 直接工事費	1	式			
_ _ 共通仮設費計	1	式			
_ _ _ 共通仮設費（率分）	1	式			
_ 純工事費	1	式			
_ _ 現場管理費	1	式			
_ 工事原価計	1	式			
_ _ 一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
_ 消費税相当額	1	式			

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分　工種　種別　細別・規格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
工事費合計	1	式			

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

経　費　根　拠　書

項　　目	内　　訳	率 / 金額
◆経費計算情報		
経費適用年月	令和08年10月	
主たる工種	舗装工事	
施工地域	一般交通影響有り (2) -1	
除雪工事補正	補正なし	
前払金支出割合	35%を超え40%以下	
契約保証の方法	金銭的保証	
工場管理･間接労務	計上しない	
間接工事費率補正（任意乗算補正）		
共通仮設費率補正	1.00	
現場管理費率補正	1.00	

第1号一位代価表(内訳書)　濁水運搬処理

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後,最終処分場に搬入［焼却又は溶融含まず］	0.01	m3			
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 15kmまで		台			
合　計					

第1号一位代価表　舗装版切断

100.000　m　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版，15cm以下，全ての費用	100	m			第1号施工Ｐ
合　計	(1	m	当り		)

第2号一位代価表　舗装版破砕

100.000　m2　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版，無し，不要，15cm以下，有り，全ての費用	100	m2			第2号施工Ｐ
合　計	(1	m2	当り		)

第3号一位代価表　　殻運搬

100.000　m3　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
殻運搬 舗装版破砕，機械(騒音対策不要､厚15cm以下)，無し，22.0km以下，全ての費用	100	m3			第3号施工Ｐ
廃材持込料 区分 越谷県土整備事務所 適用区分 As廃材	235	t			
合　計	(1	m3	当り		)

第4号一位代価表　　不陸整正

100.000　m2　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
不陸整正 無し，全ての費用	100	m2			第4号施工Ｐ
合　計	(1	m2	当り		)

第5号一位代価表　　掘削

100.000　m3　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
掘削 土砂，上記以外(小規模)，小規模(標準)	100	m3			第5号施工Ｐ 現場内運搬含む
合　計	(1	m3	当り		)

第6号一位代価表　　掘削・残土運搬

100.000　m3　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
掘削 土砂，上記以外(小規模)，小規模(標準)	100	m3			第5号施工Ｐ
土砂等運搬 小規模，ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3，土砂(岩塊･玉石混り土含む)，無し，10.0km以下	100	m3			第6号施工Ｐ
建設発生土受入費(石灰) (第1～第3種建設発生土) 地山	100	m3			
合　計	(1	m3	当り		)

第7号一位代価表　　表層(車道・路肩部)

100.000　m2　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
表層(車道･路肩部) 1.4m以上3.0m以下，mm，mm，50 mm，再生密粒度アスコン(13)，ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3，全ての費用	100	m2			第7号施工Ｐ
合　計	(1	m2	当り		)

第8号一位代価表　　下層路盤(車道・路肩部)

100.000　m2　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
下層路盤(歩道部) 31 mm，1層施工，路盤材(各種)，全ての費用	100	m2			第8号施工Ｐ 路盤材有物使用　平均厚
合　計	(1	m2	当り		)

第9号一位代価表　　上層路盤(車道・路肩部)

100.000　m2　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
上層路盤(歩道部) 69 mm, 1層施工, 再生粒度調整砕石 RM-40, 全ての費用	100	m2			第9号施工Ｐ 平均厚
合　計	(　1	m2	当り		)

第10号一位代価表　　U型側溝撤去

100.000　m　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
U型側溝 再利用撤去, 無し, 無し, 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372, 300B 300×300×600, 無し, 無し, m3/10m	100	m			第1号施工表
合　計	(　1	m	当り		)

第11号一位代価表　　殻運搬

100.000　m3　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 3.3km以下, 全ての費用	100	m3			第10号施工Ｐ
廃材持込料 区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[有筋]	250	t			
合　計	(　1	m3	当り		)

第12号一位代価表　　交通誘導警備員Ｂ

100.000　人日　当り

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員B		人			
合　計	(1	人日	当り		)

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表)　U型側溝　10.00　m　当り

(SB821410)

名　称　/　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
U型側溝 昼間 L600 300kg以下 制約無	10.000	m			
合　計	1	m	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	再利用撤去
J02	L=1000･L=4000使用の有無	無し
J03	夜間作業の有無	無し
J04	U型側溝の種類	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372
J05	U型側溝の規格	300B 300×300×600
J08	時間的制約の有無	無し
J09	施工箇所における補正	無し

第 0001 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　舗装版切断　　1 m　当り

(CB430510)　　施工P(機14.400%, 労58.900%, 材26.700%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式] エンジン駆動 通称切削深20cm級ブレード径φ56cm		9.8		K1
特殊作業員		20.2		R1
土木一般世話役		10.89		R2
普通作業員		9		R3
コンクリートカッタ（ブレード） 径18インチ		22.47		Z1
ガソリン レギュラー		2.88		Z2
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	舗装版種別	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版
J02	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	15cm以下
J05	費用の内訳	全ての費用

第 0002 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　舗装版破砕　　1 m2　当り

(CB430310)　　施工P(機12.280%,労81.660%,材 6.060%,市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型] バケット容量0.45m3		12.28		K1
土木一般世話役		29.51		R1
運転手(特殊)		27.76		R2
普通作業員		24.39		R3
軽油		6.06		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	舗装版種別	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版
J02	障害等の有無	無し
J03	騒音振動対策	不要
J04	舗装版厚	15cm以下
J06	積込作業の有無	有り
J07	費用の内訳	全ての費用

第 0003 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　殻運搬　　1 m3　当り

(CB227010)　　施工P(機42.270%, 労41.180%, 材16.550%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード･ディーゼル] 通称10t積級		42.27		K1
運転手(一般)		41.18		R1
軽油		16.55		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	舗装版破砕
J02	積込工法区分	機械(騒音対策不要､厚15cm以下)
J03	DID区間の有無	無し
J07	運搬距離(km)(DID区間無)	22.0km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

第 0004 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　不陸整正　　1 m2　当り

(CB410010)　　施工P(機20.650%, 労72.600%, 材 6.750%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
モータグレーダ[土工用] 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m		16.56		K1
ロードローラ[マカダム] 運転質量10～12t		2.07		K2
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t		2.02		K3
運転手(特殊)		35.73		R1
普通作業員		14.71		R2
特殊作業員		11.49		R3
土木一般世話役		10.67		R4
軽油		6.75		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	補足材料の有無	無し
J04	費用の内訳	全ての費用

第 0005 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　掘削　　1 m3　当り

(CB210100)　　施工P(機27.650%, 労61.340%, 材11.010%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ型)[標準型] 排出ガス対策型(第3次基準) バケット容量0.28m3		27.65		K1
運転手(特殊)		61.34		R1
軽油		11.01		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	土質	土砂
J02	施工方法	上記以外(小規模)
J05	施工数量	小規模(標準)

第 0006 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　土砂等運搬　　1 m3　当り

(CB210110)　　施工P(機25.120%, 労63.120%, 材11.760%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード･ディーゼル] 通称4t積級		25.12		K1
運転手(一般)		63.12		R1
軽油		11.76		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	土砂等発生現場	小規模
J02	積込機種･規格	ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3
J03	土質	土砂(岩塊･玉石混り土含む)
J04	DID区間の有無	無し
J13	運搬距離(km)(DID区間無)	10.0km以下

第 0007 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　表層(車道･路肩部)　　1 m2　当り

(CB410260)　　施工P(機 1.550%, 労15.080%, 材83.370%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅1.4～3.0m		0.99		K1
振動ローラ(舗装用)[搭乗･コンバインド式] 運転質量3～4t		0.2		K2
タイヤローラ[普通型] 運転質量3～4t		0.18		K3
普通作業員		5.15		R1
運転手(特殊)		3.51		R2
特殊作業員		3.45		R3
土木一般世話役		1.24		R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)		76.07		Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		6.98		Z2
軽油		0.29		Z3
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	平均幅員	1.4m以上3.0m以下
J04	1層当平均仕上厚 70mm以下	50 mm
J05	材料	再生密粒度アスコン(13)
J06	瀝青材料種類	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

J07　　費用の内訳　　全ての費用

第 0008 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　下層路盤(歩道部)　　1 m2　当り

(CB410031)　　施工P(機 4.820%, 労76.320%, 材18.860%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
小型バックホウ(クローラ)後方超小旋回･超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準) バケット容量0.09m3		2.88		K1
振動ローラ(舗装用)[搭乗･コンバインド式] 運転質量3～4t		1.71		K2
運転手(特殊)		27.48		R1
特殊作業員		16.13		R2
普通作業員		15.97		R3
土木一般世話役		13.11		R4
軽油		2.06		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	全仕上り厚(実数入力)	31 mm
J02	施工区分	1層施工
J03	材料	路盤材(各種)
J04	費用の内訳	全ての費用

第 0009 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　上層路盤(歩道部)　　1 m2　当り

(CB410041)　　施工P(機 4.480%, 労70.960%, 材24.560%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
小型バックホウ(クローラ)後方超小旋回･超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準) バケット容量0.09m3		2.68		K1
振動ローラ(舗装用)[搭乗･コンバインド式] 運転質量3～4t		1.59		K2
運転手(特殊)		25.56		R1
特殊作業員		15		R2
普通作業員		14.84		R3
土木一般世話役		12.19		R4
再生粒度調整砕石 RM-40		22.56		Z1
軽油		1.91		Z2
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	全仕上り厚(実数入力)	69 mm
J02	施工区分	1層施工
J03	材料	再生粒度調整砕石 RM-40
J04	費用の内訳	全ての費用

第 0010 号 一位代価表(施工Ｐ構成表)　殻運搬　　1 m3　当り

(CB227010)　　施工P(機39.030%, 労46.180%, 材14.790%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード･ディーゼル] 通称10t積級		39.03		K1
運転手(一般)		46.18		R1
軽油		14.79		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし
J02	積込工法区分	機械積込
J03	DID区間の有無	無し
J04	運搬距離(km)(DID区間有無)	3.3km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

積　算　条　件　一　覧　表

単価表番号	名　　称 / 規　　格	単　位	単　価	摘　要
第0001号施工表	U型側溝 再利用撤去，無し，無し，鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372，300B 300×300×600，無し，無し，m3/10m	m		SB821410
第0001号施工P	舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版，15cm以下，全ての費用	m		CB430510
第0002号施工P	舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版，無し，不要，15cm以下，有り，全ての費用	m2		CB430310
第0003号施工P	殻運搬 舗装版破砕，機械(騒音対策不要､厚15cm以下)，無し，22.0km以下，全ての費用	m3		CB227010
第0004号施工P	不陸整正 無し，全ての費用	m2		CB410010
第0005号施工P	掘削 土砂，上記以外(小規模)，小規模(標準)	m3		CB210100
第0006号施工P	土砂等運搬 小規模，ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3，土砂(岩塊･玉石混り土含む)，無し，10.0km以下	m3		CB210110
第0007号施工P	表層(車道･路肩部) 1.4m以上3.0m以下，mm，mm，50 mm，再生密粒度アスコン(13)，ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3，全ての費用	m2		CB410260
第0008号施工P	下層路盤(歩道部) 31 mm，1層施工，路盤材(各種)，全ての費用	m2		CB410031
第0009号施工P	上層路盤(歩道部) 69 mm，1層施工，再生粒度調整砕石 RM-40，全ての費用	m2		CB410041
第0010号施工P	殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし，機械積込，無し，3.3km以下，全ての費用	m3		CB227010

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

工 事 特 記 仕 様 書

（趣旨）

第１条　この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

（適用）

第２条　この特記仕様書は、次の工事に適用する。

・工 事 名　　立野地内舗装工事

・工事箇所　　春日部市立野地内

（施工時間）

第３条　施工時間は以下のとおりとする。

全工種：昼間

ただし、関係機関等から時間的制約条件を付された場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

（安全管理）

第４条　施工にあたっては、特に下記の事項に注意し安全管理に努めなければならない。

①事前に保安計画図を作成し、その内容について監督員・関係機関と協議を行う。

②保安計画にあたっては、作業時はもとより作業時間以外についても道路使用者の安全を十分確保すること。また、歩行者の誘導方法も計画すること。

③施行中は交通整理員を適正に配置し、交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。また、特に隣接地住民の出入りについては、事前に十分調整を行い、工事を進めること。

（共通事項）

第５条　受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム（CO BRIS）により作成し、施工計画書に含め各１部提出する。

また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事　（下記のいずれかに該当する工事）

① 500m^3以上の土砂を搬入する工事

② 500 t以上の砕石を搬入する工事

③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事

④ 最終受注金額１００万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事 （下記のいずれかに該当する工事）

① 500m³以上の建設発生土を搬出する工事

② アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事

③ 最終受注金額１００万円以上の工事

２ 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処理業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

３ 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストＡ票、Ｂ2票、Ｄ票、Ｅ票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、Ｄ票、Ｅ票の写しを提出する。

（建設発生土の搬出）

第６条 建設発生土の受入地は、下記のとおり予定しており、受入地までの運搬距離を仕様書によるものとする。

○処分土

受入地：改良プラント「㈱春日部資材（春日部市下大増新田地内）」

※受注者は、別の改良プラントを選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

２ 受注者は、500m³以上の建設生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂搬出届出書を受理担当窓口へ提出する。

（建設廃棄物の再資源化等）

第７条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入しなければならない。

なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

２ 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。

３ 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条第１項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。

・特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日

・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地

・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第１項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

４ 受注者は、工事の施工に当たっては、平成１４年３月１８日に策定した「彩の国建設リ

サイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（再生資材の利用）

第８条　以下の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規　　格	備　　考
再生密粒度As	13	表層
再生粒調砕石	４０mm以下	路盤、不陸整正

なお、現場から４０kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

（法定外の労災保険の付保）

第９条　受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

（週休２日の対応）

第１０条　受注者は、『春日部市「週休２　日工事」に係る事務取扱要領』に基づいて履行状況を発注者へ報告するものとする。取扱要領は、春日部市ホームページで確認のこと。

春日部市ホームページ
https://www.city.kasukabe.lg.jp/jigyoshamuke/nyusatsu_keiyaku/seidogaiyo/nyuusatuyousiki/index.html

（情報システムの活用）

第１１条　本工事は、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」第３条第１項に基づき、情報共有システムを活用すること。

実施にあたっては、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」に基づくものとするので、予め春日部市ホームページを参照すること。

○春日部市ホームページ

https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/keiyakukensaka/gyomuannai/2/3/29511.html

（その他）

第１２条　近隣において別の工事が施工される場合は、工程についてよく協議をして日程調整を行うこと。

２　受注者は、埼玉県土木工事実務要覧における工事測量を行い、測量結果にもとづき、縦断、横断等を監督員に提案すること。

３　上記に定めるもののほか、必要に応じて監督員と協議の上、工事を実施するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

（趣　旨）

第１条　この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

（適　用）

第２条　この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

・工 事 名　　立野地内舗装工事

・工事箇所　　春日部市立野地内

（濁水の処理）

第３条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

・種類及び処理量　　汚泥（油分を含む汚泥）　0.01ｍ3

・中間処理施設　　埼玉県内のアスファルト舗装版切断時に発生する濁水の受入れ施設
（中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず））

２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

（共通事項）

第４条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

（提出書類等）

第５条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第４条第２項及び第３項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

２　受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

（その他）

第６条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に発注者と協議するものとする。

３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

数量計算書

立野地内舗装工事

春日部市立野地内

数量総括表

種　別	細　別	規　格	単位	9-2279	9-2274	合計 設計数位	備　考
工事延長			m	185.5	190.9	376.4	
舗装版撤去工	舗装版切断	t≦15cm	m	5	1	6	
	濁水処分		m3	0.01	0.001	0.01	
	濁水運搬	15.0kmまで	台	1		1	
	舗装版破砕	t≦15cm	m2	36	6	42	
	殻運搬及び処分	As DIDなし 22.0km以下	m3	2	0.3	2	
舗装工	不陸整正	補足材なし	m2	418	528	946	
	掘削	現場内運搬含む	m3	8		10	
	掘削・残土運搬・処分	DIDなし 10.0km以下	m3		5	10	
	表層	3.0m以下 再生密粒度As(13) t=5cm	m2	684	528	1210	
	路盤	路盤材有物使用	m2	266		266	
	路盤	RM40	m2	266		266	
	U字溝撤去	300B（管、桝等含む）	m	49		49	
	殻運搬及び処分	Co DIDなし 3.3km以下	m3	3		3	

市道９－２２７９号線
立野

●市道９－２２７９号線

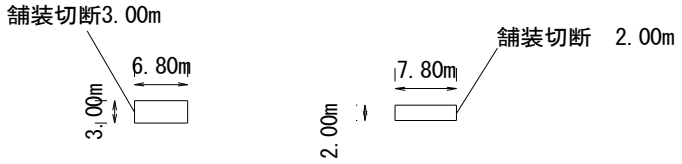
数量総括表

種　別	細　別	規　格	単位	設計数量	備　考
舗装版撤去工	舗装版切断	t≦15cm	m	5	
	濁水処分		m3	0.01	
	濁水運搬	15.0kmまで	台	1	
	舗装版破砕	t≦15cm	m2	36	
	殻運搬及び処分	DIDなし 22.0km以下	m3	2	
舗装工	不陸整正	補足材 なし	m2	418	
	掘削	現場内運搬含む	m3	8	
	表層	3.0m以下 再生密粒度As(13) t=5cm	m2	684	
	路盤	路盤材有物使用　平均t=31	m2	266	
	路盤	RM40　平均t=69	m2	266	
	U字溝撤去	300B（管、桝等含む）	m	49	
	殻運搬及び処分	DIDなし 3.3km以下	m3	3	

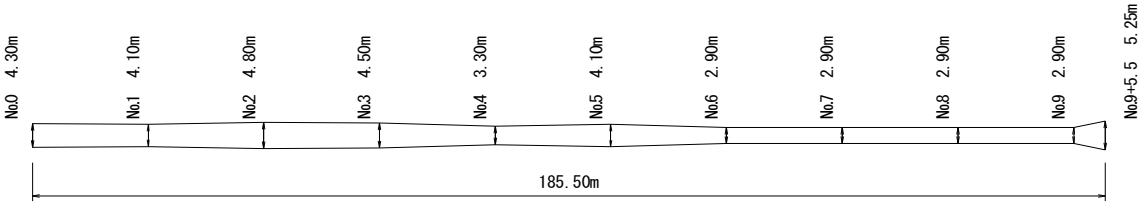
●市道９－２２７９号線

数　量　計　算　書

舗装版撤去面積



No.0～No.3　路盤
No.4～No.9+5.5　不陸整正
舗装面積



種別	算式	数量
舗装版切断	3.00 ＋ 2.00	5 m
濁水処分	5.00 × 0.130 / 100 = 0.0065	0.01 m3
濁水運搬	1	1 台
舗装版破砕	3.00 × 6.80 = 20.40 2.00 × 7.80 = 15.60 36.000	36 m2
殻運搬及び処分	36.00 × 0.05 ＝ 1.800	2 m3
不陸整正	CAD計測 ＝ 418.39 418.39	418 m2
掘削	418.39（不陸整正計算書より） × 0.02 ＝ 8.37	8 m3
表層	CAD計測　684.39	684 m2
路盤	No.0～No.3 現況路盤材使用　CAD計測 266.00	266 m2
路盤材	266.00（不陸整正計算書より） × 0.10 = 26.60	
有物路盤材	8.37	
購入路盤材	26.60 － 8.37 = 18.23	
路盤厚　有物	8.37 / 266.00 = 0.031	
路盤厚　購入	18.23 / 266.00 = 0.069	
U字溝撤去	48.80	49 m
殻運搬及び処分	48.80 × 129.00 kg/m / 1000 = 6.30 t 6.30 / 2.5 t/m3 t = 2.52 m3	3 m3

●市道９－２２７９号線

不陸整正、路盤計算書

測点		距離	現況			計画			
			高さ	平均高さ	面積	高さ	5cm 下がり	平均高さ	面積
No.0			10.385			10.385	10.335		
No.1	路盤工	20.00	9.980	10.183	203.650	10.263	10.213	10.274	205.480
No.2		20.00	9.962	9.971	199.420	10.142	10.092	10.153	203.050
No.3		20.00	10.020	9.991	199.820	10.020	9.970	10.031	200.620
No.4	不陸整正	20.00	10.035	10.028	200.550	10.035	9.985	9.978	199.550
No.5		20.00	10.082	10.059	201.170	10.082	10.032	10.009	200.170
No.6		20.00	10.050	10.066	201.320	10.099	10.049	10.041	200.810
No.7		20.00	10.115	10.083	201.650	10.115	10.065	10.057	201.140
No.8		20.00	10.160	10.138	202.750	10.160	10.110	10.088	201.750
No.9		20.00	10.102	10.131	202.620	10.102	10.052	10.081	201.620
No.9 ＋ 5.5		5.50	10.150	10.126	55.693	10.150	10.100	10.076	55.418
路盤		60.00			602.89				609.15
不陸整正		125.50			1265.75				1260.46

No.3～No.9＋5.5 不陸整正 平均厚 （ 1260.46 － 1265.75 ）／ 125.50 ＋ 0.02

＝ -0.04 ＋ 0.02

＝ -0.02

No.0～No.3 路盤 平均厚 （ 609.15 － 602.89 ）／ 60.00

＝ 0.10

＝ 0.10

市道９－２２７４号線
立野

●市道９－２２７４号線

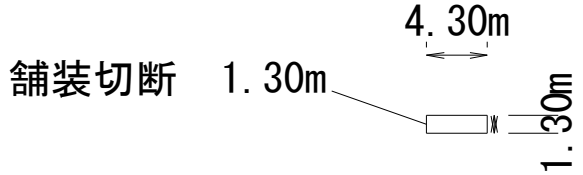
数量総括表

種　別	細　別	規　格	単位	設計数量	備　考
舗装工	舗装版切断	t≦15cm	m	1	
	濁水処分		m3	0.001	
	濁水運搬	15.0kmまで	台		9-2279号線で計上
	舗装版破砕	t≦15cm	m2	6	
	殻運搬及び処分	DIDなし 22.0km以下	m3	0.3	
	不陸整正	補足材 なし	m2	528	
	掘削・残土運搬・処分	DIDなし 12.0km以下	m3	5	
	表層	3.0m以下 再生密粒度As(13) t=5cm	m2	528	

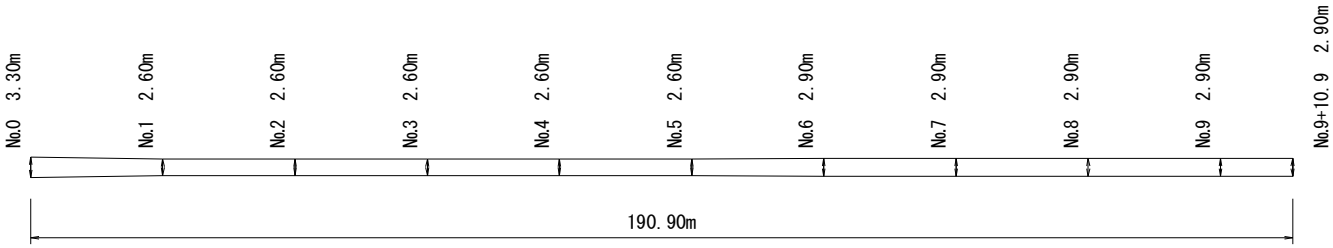
●市道９－２２７４号線

数　量　計　算　書

舗装版撤去面積



不陸整正
舗装面積



種別	算式	数量
舗装版切断	1.30	1　m
濁水処分	1.00　×　0.130　／　100　＝　0.0013	0.001　m3
濁水運搬	1	1　台
舗装版破砕	1.30　×　4.30　＝　5.59	
	5.590	6　m2
殻運搬及び処分	5.59　×　0.05　＝　0.280	0.3　m3
不陸整正	CAD計測	
	＝ 527.60	
	527.60	528　m2
掘削・残土運搬・処分	不陸整正計算書より 527.60　×　0.01　＝　5.276	5　m3
表層	527.60	528　m2

●市道９－２２７４号線

不陸整正計算書

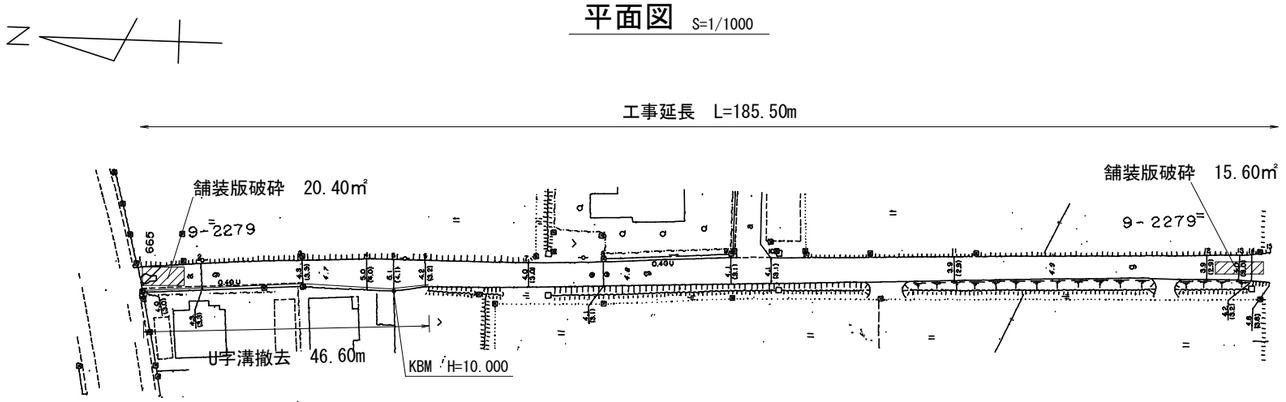
測点	距離	現況			計画			
		高さ	平均高さ	面積	高さ	5cm 下がり	平均高さ	面積
No.0		9.955			9.955	9.905		
No.1	20.00	9.855	9.905	198.100	9.948	9.898	9.902	198.030
No.2	20.00	9.883	9.869	197.380	9.942	9.892	9.895	197.900
No.3	20.00	9.935	9.909	198.180	9.935	9.885	9.889	197.770
No.4	20.00	9.985	9.960	199.200	9.943	9.893	9.889	197.780
No.5	20.00	9.950	9.968	199.350	9.950	9.900	9.897	197.930
No.6	20.00	9.923	9.937	198.730	9.956	9.906	9.903	198.060
No.7	20.00	9.962	9.943	198.850	9.962	9.912	9.909	198.180
No.8	20.00	9.935	9.949	198.970	9.935	9.885	9.899	197.970
No.9	20.00	9.897	9.916	198.320	9.933	9.883	9.884	197.680
No.9 ＋ 10.9	10.90	9.930	9.914	108.057	9.930	9.880	9.882	107.708
	190.90			1895.14				1889.01

（ 1889.01 － 1895.14 ）／ 190.90 ＋ 0.02

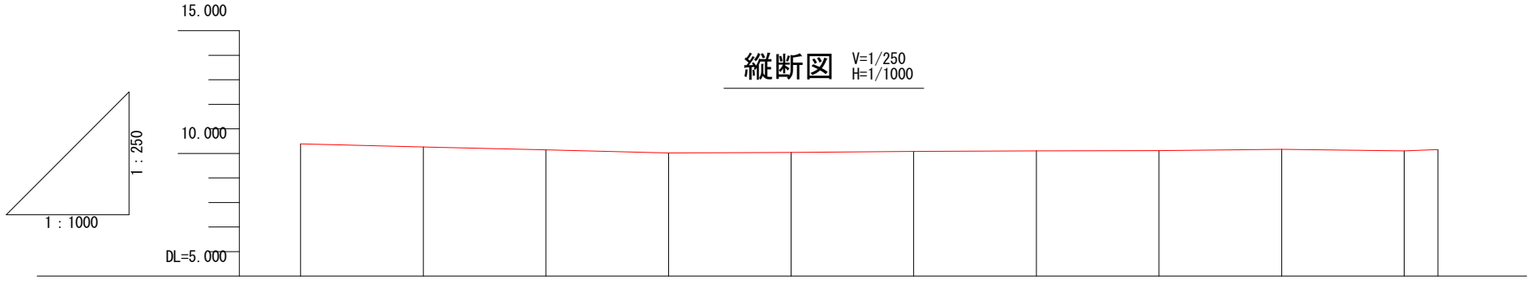
＝ -0.03 ＋ 0.02

＝ -0.01

平面図 S=1/1000



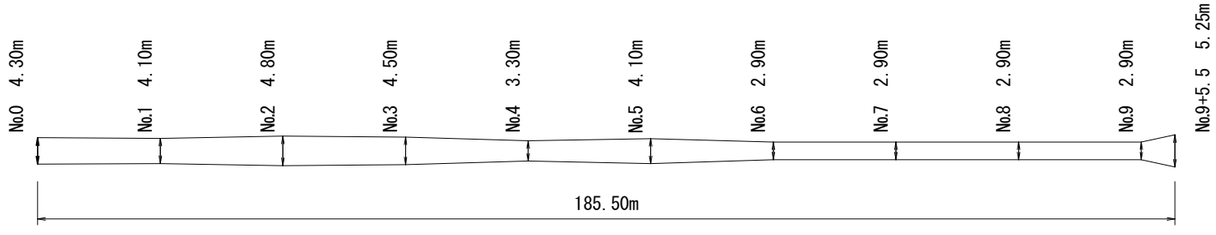
縦断図 V=1/250 H=1/1000



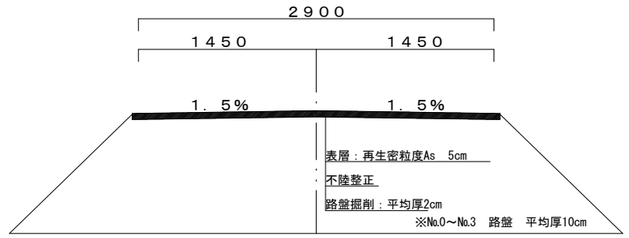
勾配		i=-0.610% L=20.000m		i=-0.610% L=20.000m		i=-0.610% L=20.000m		i=0.080% L=20.000m		i=0.230% L=20.000m	
計画高（中心）	10.385		10.263		10.142		10.020		10.035		10.082
地盤高（中心）	10.385		9.980		9.962		10.020		10.035		10.082
追加距離	0.000		20.000		40.000		60.000		80.000		100.000
測点番号	No.0		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5

勾配	i=0.090% L=20.000m		i=0.080% L=20.000m		i=0.230% L=20.000m		i=0.290% L=20.000m			
計画高（中心）	10.099		10.115		10.160		10.102	10.150		
地盤高（中心）	10.050		10.115		10.160		10.102	10.150		
追加距離	120.000		140.000		160.000		180.000	185.500		
測点番号	No.6		No.7		No.8		No.9	No.9+5.5		

舗装求積図 S=1/1000



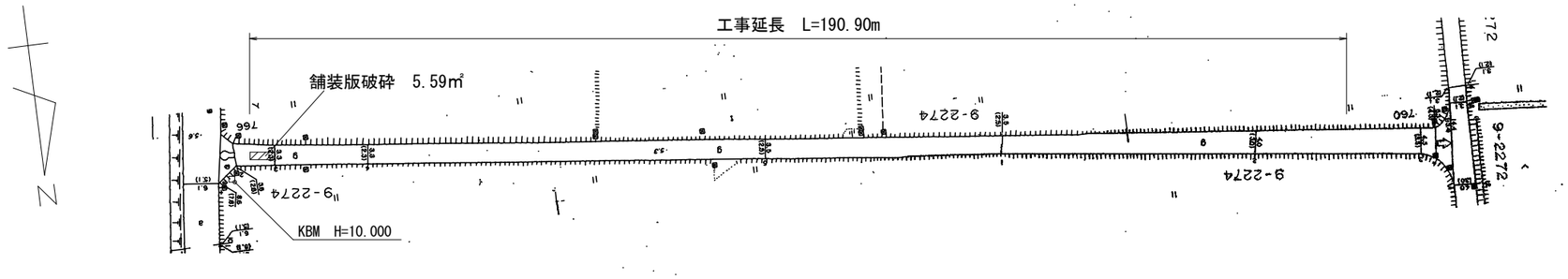
標準断面図 S＝１：５０



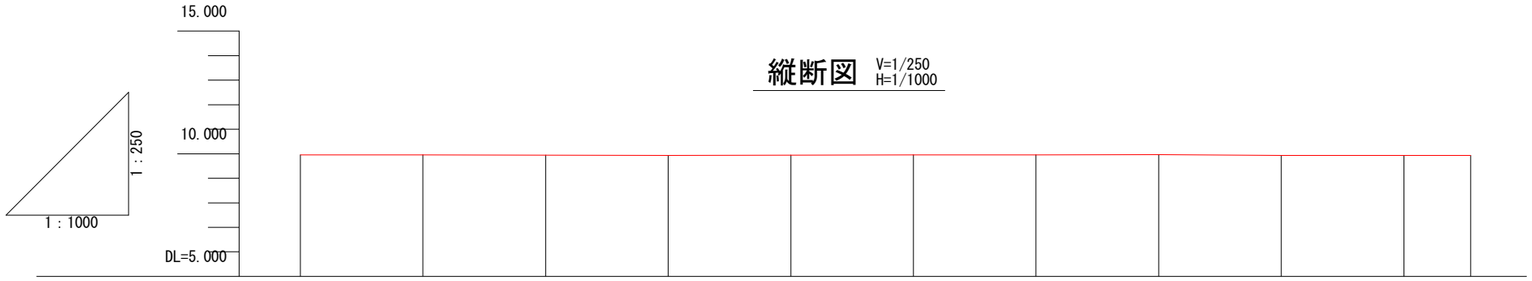
図面サイズA3

工事名	立野地内舗装工事		
道路名	市道9-2279号線		
工事場所	春日部市立野地内		
図面名	平面図、縦断図、標準断面図、舗装求積図		
縮尺	図示	図面番号	1/2
春日部市環境経済部農業振興課			

平面図 S=1/1000

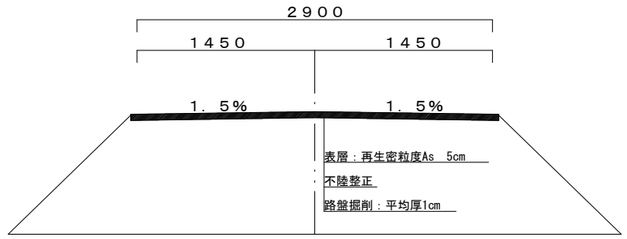


縦断図 V=1/250 H=1/1000

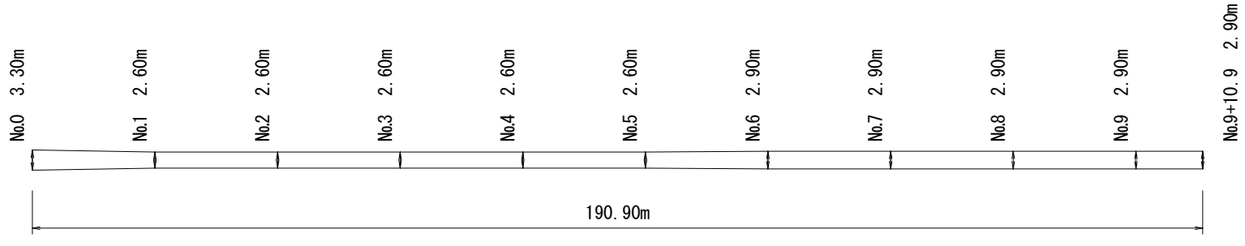


勾配		i=-0.030% L=20.000m	i=-0.030% L=20.000m	i=-0.040% L=20.000m	i=-0.040% L=20.000m	i=-0.030% L=20.000m	i=-0.030% L=20.000m	i=-0.030% L=20.000m	i=0.140% L=20.000m	i=0.010% L=20.000m	
計画高（中心）	9.955	9.948	9.942	9.935	9.943	9.950	9.956	9.962	9.935	9.933	9.930
地盤高（中心）	9.955	9.855	9.883	9.935	9.985	9.950	9.923	9.962	9.935	9.987	9.930
追加距離	0.000	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000	120.000	140.000	160.000	180.000	190.900
測点番号	No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.9+10.9

標準断面図 S＝1：50



舗装求積図 S=1/1000



図面サイズA3

工事名	立野地内舗装工事		
道路名	市道9-2274号線		
工事場所	春日部市立野地内		
図面名	平面図、縦断図、標準断面図、舗装求積図		
縮尺	図示	図面番号	2/2
春日部市環境経済部農業振興課			